

今どきの、猫の飼い方



新潟県では条例を改正し「猫を飼う場合のルール」を定めました！
猫だって社会の一員です。愛される存在であるよう、マナーを守って飼いましょう。



今どきは、完全室内飼育

「外に出してあげないとかわいそう」と思い込んでいる方も多いのですが、猫は室内で安心して暮らせる環境が大好き。狭くても高低差をつけ登り降りできる場所があれば十分です。爪とぎを用意してもらえば、家具が傷つけられることもありません。キャットタワーを置くなど工夫次第でさらに快適になります。

外に出る猫は、交通事故や病気のリスクが高く、寿命は室内飼育の半分くらいと言われてています。

市販の猫用トイレ用具を使えば、始末も簡単でふん尿のニオイも少なく便利です。猫は大変きれい好き。トイレはこまめに掃除してあげてください。



メリット

- ①交通事故に遭わない
- ②フン尿や鳴き声で近所迷惑になることがない
- ③猫が病気にかかりにくくなり長生きできる



今どきは、不妊去勢手術をして飼う



「手術をするのはかわいそう」「自然に任せるのがいい」と思う方もいるでしょうが、実際には手術した方が、猫も飼い主さんもストレスが少なく幸せに暮らせます。子猫は生後6ヶ月ほどで成熟し妊娠可能となります。発情期のメス猫は大きな声で鳴きますが、この時に外に出してしまうとほぼ100%妊娠します。猫の妊娠期間はわずか60日、年2~3回妊娠し、1回に4~8頭出産します！生まれてきた子猫の飼い主をすべて見つけることは大変難しく、たくさんの子猫たちが処分される原因になっています。手術をしないで責任の持てない命の繁殖を許すことは、何の罪もない命を奪うことと同じです。

メリット

- ①子猫が生まれることがない
- ②オスはスプレー(マーキング)行動をしなくなる
- ③発情期特有の大きな鳴き声がない
- ④「恋人より飼い主が大好き」で生涯を過ごすことができる



今どきは、首輪に迷子札、マイクロチップ

いなくなったと連絡をくださる飼い主さんの多くは、猫に首輪・迷子札をつけていないために、迷子猫の情報が少なく発見されにくいのです。普段は室内にいるからと安心していても、脱走されてしまうこともあります。「もしも」のために、飼い主の連絡先が判る迷子札をつけてください。首輪が外れたとき、災害時などはマイクロチップが入っていれば、発見時に飼い主さんへ連絡が取れるようになります。



猫に関するお悩み、困りごと、
飼い猫が行方不明になったときにも
右記までご相談ください。

新潟県動物愛護センター
下越動物保護管理センター
上越動物保護管理センター
佐渡保健所生活衛生課

長岡市関原町1-2663-6
新発田市奥山新保430
上越市中正善寺1340
佐渡市相川二町目浜町20-1

TEL.0258-21-5501
TEL.0254-24-0207
TEL.025-525-9263
TEL.0259-74-3399

のら猫のフンなどで お困りの方へ

猫に関するトラブルを減らし、地域の環境を守るため、「猫を飼育する場合のルール」が県条例によって定められました。

のら猫が住み着く原因

猫が住みやすい環境＝エサを与えている・飼い猫のエサやゴミが放置されている・居心地のいい場所がある ※エサを与えている方も、飼い主と同様に猫の管理者として責任があります。

行政の対応

首輪などをつけていない飼い猫も多く、のら猫との見分けができないため動物愛護センターや保健所、市町村役場では猫の捕獲はしていません。なお、処分目的で勝手に猫を捕獲することは「動物虐待」にあたります。

猫が寄ってこないようにするには

- 猫は強いにおいがキライです。(洗剤やトイレの芳香剤、香水、木酢液 等)

例：家庭で使用している洗濯洗剤(粉剤)を家の敷地(猫の通り道)に撒く
※洗剤は水を含んだ際のべたつき感を嫌がりますので、猫が飛び越えられない幅で撒くことをお勧めします

- 超音波を発生させることにより猫が寄ってこないようにする装置も市販されています。

飼い主のいない猫のお世話をしている方へ 猫を増やさないで!



県ではのら猫に対する手術費用の助成金制度を実施しています。エサを与えるならば、猫が悪者にされないためにも、子猫が増えないように手術し頭数を管理しましょう。トイレを設置し、毎日掃除をしてください。衛生的に世話ができます。



猫は生後6ヶ月ほどで妊娠可能になり1年で2～3回、1回に4～8頭も出産します。1頭のメス猫から始まり、たった1年で80頭にまで増えてしまうこともあるのです。

ねこの御近所の皆様へ 「地域猫」活動を知ってください

猫を迷惑に思っているかたもいるとは思いますが、猫も被害者なのです。元飼い猫が心ない飼い主に捨てられ、きびしいのら猫生活をしていることもあります。外猫は寒さや交通事故・病気のために、寿命は3年程度と言われていきます。助成金を使って手術し増えないようにすること、トイレを設置して衛生的に管理し、1代限りの命を地域で見守る「地域猫」活動へのご協力をお願いしています。憎むばかりでなく、温かく見守ってくださるようお願いいたします。